

総務建設常任委員会協議会 説明資料

令和5年8月3日

本庁舎耐震補強可能性調査について

資 料

- | | | |
|---------------------|-------|-----|
| 1. 本庁舎整備の経過について | ----- | 1～2 |
| 2. 本庁舎耐震補強可能性調査について | ----- | 3 |
| 3. 本庁舎整備の方向性について | ----- | 4 |

総 務 課

1. 本庁舎整備の経過について

年 月	内 容
<p>R 2. 7～ R 4. 3</p>	<p>大磯町新庁舎整備基本構想等検討委員会 新庁舎整備基本構想（案）の策定にあたり、調査や審議を行う検討委員会を設置 委員は学識経験者、公募町民、町内の関係団体又は企業の代表、行政関係機関など9名で構成され、延べ6回の検討委員会を開催</p>
<p>R 2. 9～ R 5. 6</p>	<p>新庁舎建設等特別委員会 町議会において、新庁舎整備に関する事項について調査・研究を行うため、設置された。 令和2年度：4回開催、令和3年度：5回開催、令和4年度：4回開催、令和5年度：1回開催</p>
<p>R 4. 3</p>	<p>大磯町新庁舎整備基本構想策定 《内容》現庁舎の現状と課題・建替えの必要性 新庁舎の在り方〈基本理念と6つの基本方針〉 庁舎整備に必要な機能及び規模 ・規模：建物規模 5,000 m²、 敷地面積 6,120 m²（駐車場面積 2,150 m²） 庁舎整備の方法〈敷地条件・施設計画〉 ・建設地：現敷地内（令和2年4月検討会報告書を踏まえ） 庁舎整備の進め方〈事業手法、概算事業費〉 ・概算事業費：29.2億円 （庁舎本体工事＋解体工事＋隣接用地取得費） 整備スケジュール ・令和7年度の利用開始を目標</p>
<p>R 4. 12</p>	<p>令和4年12月議会一般質問 新庁舎建設に向けて取組みを一度止めて、現在の庁舎の耐震補強が可能かどうか耐震診断を実施し、その結果をもとに今後の進め方を検討・決定していくことを説明</p>
<p>R 5. 3</p>	<p>大磯町新庁舎整備基本計画策定 《内容》基本理念・基本方針（基本構想を継承） 新庁舎整備に必要な機能及び規模 ・基本構想の内容を精査 新庁舎整備の方法 ・配置計画・機能構成の検討</p>

	<ul style="list-style-type: none">・ゾーニング案の比較検討・津波浸水対策 <p>新庁舎設備の進め方</p> <ul style="list-style-type: none">・概算事業費：44.38億円 (庁舎本体工事＋解体工事＋設計費＋立体駐車場整備費)・基本構想時点からの物価上昇を見込む <p>今後の進め方</p> <ul style="list-style-type: none">・現庁舎の耐震診断実施について記載 <p>※当初は、基本計画策定及び基本設計を実施する予定だったが、基本計画策定に変更した。</p>
--	---

2. 本庁舎耐震補強可能性調査について

1 委託期間

約4か月（現地調査及び解析作業3か月、報告書作成1か月）

2 委託内容

- ・現地調査：コンクリート強度試験、中性化試験、飛来塩分試験
- ・現状の I_s 値算定
- ・補強目標の I_s 値への補強方法検討
- ・補強概算工事費の算出
- ・施工方法の検討
- ・施工期間の検討
- ・長寿命化対策案（躯体、設備）の検討及び概算工事費の算出
- ・津波対策の検討

【参考資料】

昭和61年度の本庁舎耐震診断結果（補強前）と平成13・14年度本庁舎防災対策工事実施（補強後）の I_s 値（構造耐震指標）について

	X方向（南北方向）		Y方向（東西方向）	
	補強前	補強後	補強前	補強後
5階	1.76	0.847	1.72	0.832
4階	0.20	0.557	0.61	0.633
3階	0.20	0.599	0.33	0.506
2階	0.18	0.568	0.27	0.515
1階	0.15	0.589	0.24	0.527
地下	0.28	0.564	0.21	0.520

3. 本庁舎整備の方向性について

